

平成 30 年度九州森林管理局林野公共事業評価技術検討会議事概要
(期中・完了後の評価)

1. 日 時 平成 30 年 7 月 19 日(木) 13 : 30 ~ 15 : 20
2. 場 所 九州森林管理局 1 階 経 理 課 会 議 室
3. 出席者 技術検討会委員 藤掛委員長、寺岡委員、黒川委員
九州森林管理局 森林整備部長、計画保全部長、企画調整課長、
治山課長、専門官(災害調整担当)、民有林治山係長
監査官、監査係長
4. 議 題 平成 30 年度期中の評価及び完了後の評価について
期中の評価
民有林直轄治山事業(桜島地区)

完了後の評価
森林環境保全整備事業
球磨川森林計画区、一ツ瀬川森林計画区、大淀川森林計画区(宮崎署)、
大淀川森林計画区(都城支署)、大隅森林計画区

5. 議事概要

(治山課長、民有林治山係長より期中の評価結果(案)について説明、その後に質疑応答)

(委員)

個表(案)のところで、今回の総費用、総便益 B/C が 1.41 で、平成 25 年度の B/C は 1.68 となっている。総便益が平成 25 年の時点と比べると 100 億円増加、一方、総費用は 300 億円程増加となっている。そこだけ見ると費用は 300 億円掛けて便益は 100 億円増えただけでは少ない気もする。どの様に理解したらよろしいか。

(九州局)

事業箇所が上流域となり、新しい工事用道路の建設が必要になるなど、以前より費用が掛かり増しとなっているためである。九州局としては、元々の山のかたちに戻るように、早く上流域の山腹荒廃地や荒廃溪流を復旧し、土砂の流出を軽減することで保全対象を守っていく考えである。

(委員)

長期になっていくと便益の価値が下がり、これだけ長期間だと従来の評価軸では計りづらい。いずれ 1.00 を切る可能性がある。そうなると全体計画が成り立たない。例えば災害が起きたら復旧治山でその都度やっていく可能性があるのではないか。このような長期的な事業に対する評価の手法が別に必要ではないか。今後、検討いただければと思う。

(九州局)

一般的な山地災害における治山対策と違って火山地域での治山対策は事業着手後も事業対象が拡大しているので、評価の仕方が難しい。また、火山地域での治山対策でも一般的な事業期間は、数年間から10数年間程度であり、桜島のように長期間にわたり事業を実施している例はあまりない。ご意見は林野庁に伝えたい。

(委員)

一番大きな山地災害防止便益における、山腹崩壊が発生した場合の被害想定額について、桜島は観光も大事であるが、桜島観光が出来なくなった場合の被害額はどの様に算出しているのか。

(九州局)

評価している主な保全対象は、人家1,522戸、国道・県道14.9km、市道外146.5km、農耕地258haであり、一時的に滞在している観光客は評価の対象としていない。

(委員長)

意見が出尽くしたようですので、これまでの説明を踏まえて、技術検討会による意見の取りまとめを行います。

期中の評価においては、「費用便益分析結果、社会経済情勢の変化、事業の進捗状況、地元の意向、事業コスト削減の可能性等を総合的に検討した結果、事業の実施が妥当である。」として取りまとめてよろしいか。

(委員)

異議なし。

(専門官(災害調整担当)より完了後の評価結果(案)について、球磨川森林計画区を代表事例として説明、その後に質疑応答)

(委員)

完了後の評価は、事業期間が5年間で、その事業が終了し、5年後に行っているのか。

(九州局)

そのとおりである。

(委員)

今回、完了後の評価ということで、事業採択時と比べ、総便益、総費用が増えているのは、どの様な因子(事業量、単価、算定方法)のどれが一番影響しているのか。

(九州局)

採択時には事前評価の価値であり、森林計画に基づいて算出されているものの計画どおりいかない場合もある。補正予算による事業量の増加や請負工事単価の変動、算定方法等の変更などが生じいずれも影響していると考えます。

(委員)

総費用にはどこまでの事業が含まれるか。

(九州局)

総費用は伐期までに要する費用額になる。

(委員)

資料の中で水源涵養便益が2度出てきているのはなぜか。

(九州局)

森林整備と路網でそれぞれで評価しているためである。

(委員)

どちらの便益か記載していただきたい。

(九州局)

了解。

(委員長)

意見が出尽くしたようですので、これまでの説明を踏まえ、技術検討会による意見の取りまとめを行います。

完了後の評価においては、「費用便益分析結果、森林・林業情勢その他社会経済情勢の変化、地元の意向、また、森林整備事業を行うことにより、水源涵養や山地保全、木材生産等の森林の持つ多面的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認める。」として取りまとめてよろしいか。

(委員)

異議なし。